

活力創出基盤整備総合交付金 目標達成型パッケージの事後評価提出様式

平成28年9月

対象事業	七ヶ浜町内の幹線道路の補修及び改築を行い、通行車両及び歩行者の安全を図る社会資本整備	対象地域	七ヶ浜町（宮城県）
対象事業の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	対象事業No.	11
対象事業の目的	七ヶ浜町内の幹線道路の安全で安心な交通確保と住みよい地域づくりを支援するための社会資本整備を行う。		
対象事業の効果	事業の実施により、歩行者及び車両（路線バス等）通行の安全確保、並びに沿道住民の生活環境の向上も図られる。		
対象事業の成果目標（アウトカム指標）	平成26年までに安全走行可能人口を平成22年の12,570人から13,440人へ引き上げる。		
アウトカム指標の定義及び算定式	整備率の向上により、周辺地域の快速車道走行可能人口 安全走行可能人口 = 補修済み延長／全体延長×周辺人口	アウトカム指標の現況値及び目標値	当初現況値 12,570人 中間目標値 13,410人 (H23末) 長期目標値 13,440人 (H26末)

事後評価

1. 要素事業の進捗状況			
事業費	H22	21 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>君ヶ岡線の舗装補修は、平成23年度に完了</li> <li>小田小友線の舗装補修は、平成22年度に完了</li> <li>北遠山団地2号線の舗装補修は、平成24年度に完了</li> </ul>
	H23	5 百万円	
	H24	10 百万円	
	H25	- 百万円	
	H26	- 百万円	
2. 事業効果の発現状況			
①成果目標に関連する要素事業の効果の発現状況	想定よりも早く事業が完了したため、早期の安全確保ができた。 舗装の補修を行った君ヶ岡線・小田小友線・北遠山団地2号線は、ひび割れ及び轍（わだち）が無くなったことにより走行性が向上し、一般・緊急車両及び路線バスが安全に通行することが可能になった。		
②成果目標の達成状況	長期目標値 (H26末目標) 13,440人 長期実績値 (H24末実績) 13,440人	目標値と実績値に差が出た要因	平成24年度で事業が完了し、目標値に達した。
③成果目標以外の要素事業の効果の発現状況	整備前は、上記路線の車道に対し舗装破損による走行障害、タイヤの騒音の苦情が多々寄せられたが、整備後はそれらが解消され快適に走行することができるようになった。		
3. 特記事項			

町道 君ヶ岡線

舗装のひび割れと轍（わだち）が進み車両の走行に支障をきたしていたが、舗装補修したことにより改善された。

整備前



整備後



町道 小田小友線

舗装のひび割れが進み車両の走行に支障をきたしていたが、舗装補修したことにより改善された。

整備前



整備後



町道 北遠山団地2号線

舗装のひび割れが進み車両の走行に支障をきたしていたが、舗装補修したことにより改善された。また、歩道の舗装も修繕したので歩行者も安全に通行することができるようになった。

整備前



整備後

